

体験活動参加型(小学校)

学校名等	安八町立結小学校
実施日時	令和5年11月20日(月)10:15~12:00
会場	結小学校 体育館
参加人数	保護者28名・1年生児童30名
学習課題(分野)	体験活動「ふれあいあそび」(家族の大切さ)
運営者の願い	「親子での体験 ~ふれあいを通して 心の絆を深めよう~」をテーマに、一年間を通して親子で体験活動を行う。今回は、「ふれあいあそび」と題して、親子で考え、笑い合い、楽しみながら活動を行いたい。

学習の内容

<親子ふれあいあそび>

大垣女子短期大学 垣添忠厚氏を迎え、『子どもの運動発達と遊び』をテーマに、活動することにした。

垣添先生からは「子どもの心身の成長には、運動は欠かせない要素である。親子や大人との遊びを通して、体を触れ合いながら楽しさを共有することが心の成長の支えになる」という話を聞き、今回のふれあい遊びが楽しみになった。



<遊びの内容>

(1) 反応遊び

…後出しじゃんけん、お返事ゲーム、指切りぐーちょきぱー、親子おにごっこ 等

(2) 新聞を使って遊ぼう

…じゃんけんには負けたら新聞紙を半分に折っていき、最後まで残ったペアの勝ち。
…新聞紙をくるくる丸めて輪っかを作ろう。

(3) レクリエーション「ラダーゲッターで遊ぼう」

…「ラダーゲッター」は、紐でつながった2個のボールを投げてラダー(はしご)に引っ掛けるスポーツ。



講師の方の説明を聞きながら、30分ごとに新しい遊びになる。30分の活動はあっという間に終わってしまいましたが、どの活動も笑い声があふれていた。前にやったこともある遊びでも、改めて親子で行うと、楽しさが倍増する気がした。また、ラダーゲッターは、初めて体験した人ばかりで、目で距離を測り、適度な力加減で投げることは意外に難しそうだった。

<参加者の感想>

- ・ 何より、子どもの笑顔が見ることができてよかったです。
- ・ 久しぶりにゆったりとした時間の中で、親子で手遊びや言葉遊びを楽しめました。おにごっこにしても、子どもの成長を感じられるとても貴重なひと時になりました。
- ・ 最近2人きりで遊ぶ時間をとることが難しかったので、とても楽しい時間でした。
- ・ 子どもと一緒に走り回ることがなくなっていたし、久しぶりに身体を動かすことができました。どの活動も頭を使うのに、笑いがいっぱいの中で、ふれあいもできて、とてもよかったです。
- ・ 子どもたちが話を聞いている姿や身体を動かしている姿を見ることができてよかったです。また、家でもできそうなことをやってみたいです。

<活動後>

- ・ 家庭教育学級活動を4回終えたのち、アンケートをとると、この「親子ふれあいあそび」が最も人気だった。家でもできそうなことが多かったからこそ、テーマとしている「家族との絆を深める」ことに繋がっていると思う。



体験活動参加型を

中心とした活動

今年度は、「講演会型+体験活動参加型」を1回、「体験活動参加型」を3回実施した。

1回目は「給食試食会と栄養教諭による学校給食と食事のマナーについて」、2回目は地域の施設を活用した「プラネタリウム鑑賞会」、3回目は、この「ふれあいあそび」、4回目は、かかみがはら航空宇宙博物館より講師を迎え、「宇宙博オリジナル紙飛行機製作」を行った。

どの活動も親子で行う体験活動であり、親子で話をしながら活動し、笑顔がたくさん見られた。



役員による

主体的な運営

家庭教育学級委員が講師の方と連絡を取り、親子で触れ合う大切さを学び、ともに活動できる内容の打ち合わせをしたうえで、当日を迎えている。準備、当日の進行等、すべて委員で進行している。



活動後には…

「家に帰ってから、兄弟も一緒に家族みんなで、ふれあいあそびで学んだ遊びを行うことができた。」などという感想があった。